

## トヨタ東自大シラバス

## 修得目標と授業計画

学科名	ボデークラフト科	実務経験を有する教員による授業 ○	
科目名	総合整備Ⅰ	分類	必修・選択必修・選択
履修時期	1年1学期	時限数	35 時限
担当者	トヨタ東京自動車大学校授業担当者名簿参照		学科: 8.5 時限 実習: 26.5 時限 1時限は、90分
授業内容	自動車を構成する代表的な装置の「役割と作動原理」「構造・作動」「簡単な車上点検要領」「オーバーホール技能」の習得		
修得目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車の機能を満足させるための作動原理を知る。</li> <li>・定期点検作業が1人で出来る。</li> <li>・修理書を使ったオーバーホール作業が出来る。</li> <li>・自動車部品の計測が正確に出来る。</li> </ul>		

## 授業計画

時限	項目	内 容	時限	項目	内 容
1	導入	授業の内容や目的、進め方の説明	31	作業訓練8	ピストン計測 定期点検 診断技術 電気回路 反復練習8
2	オーバーホール1	ピストン脱着・計測	32	作業訓練9	ピストン計測 定期点検 診断技術 電気回路 反復練習9
3	オーバーホール2	ピストン、ピストンリング、コネクティングロッドの方向性	33	作業訓練10	ピストン計測 定期点検 診断技術 電気回路 反復練習10
4	オーバーホール3	ピストンクリアランス測定1	34	学科試験	試験
5	オーバーホール4	ピストンクリアランス測定2	35	実技試験	試験
6	オーバーホール5	バルブクリアランスの調整要領	36		
7	オーバーホール6	オルタネーター交換、充電状態測定	37		
8	診断技術1	ダイアグノーシス、TCCS故障診断	38		
9	診断技術2	始動装置の故障診断(ベンチエンジン)	39		
10	診断技術3	始動装置の故障診断(スタータ単体)	40		
11	診断技術4	スターターの構成部品の名称、役割	41		
12	診断技術5	灯火装置の故障診断1	42		
13	定期点検技術1	灯火装置の故障診断2	43		
14	定期点検技術2	12ヶ月点検作業	44		
15	定期点検技術3	上記作業訓練の反復	45		
16	車の原理・機能の知識1	安全作業、車の基本原理	46		
17	車の原理・機能の知識2	シャシ、ブレーキブースター	47		
18	車の原理・機能の知識3	トランスミッション、CVT	48		
19	車の原理・機能の知識4	カーエアコン	49		
20	車の原理・機能の知識5	電気回路の計算	50		
21	車の原理・機能の知識6	HV構成部品の名称、役割	51		
22	車の原理・機能の知識7	ハイブリッド車の取扱い	52		
23	車の原理・機能の知識8	スマートエントリーシステム	53		
24	作業訓練1	ピストン計測 定期点検 診断技術 電気回路 反復練習1	54		
25	作業訓練2	ピストン計測 定期点検 診断技術 電気回路 反復練習2	55		
26	作業訓練3	ピストン計測 定期点検 診断技術 電気回路 反復練習3	56		
27	作業訓練4	ピストン計測 定期点検 診断技術 電気回路 反復練習4	57		
28	作業訓練5	ピストン計測 定期点検 診断技術 電気回路 反復練習5	58		
29	作業訓練6	ピストン計測 定期点検 診断技術 電気回路 反復練習6	59		
30	作業訓練7	ピストン計測 定期点検 診断技術 電気回路 反復練習7	60		

授業外学習	4時限分の授業レポートをまとめるために、1～2時間かかりこれが1日の復習となる。
教科書	トヨタサービス技術テキスト導入編、1～3ステップ
教材	シリンダブロックASSY、シリンダヘッドASSY、オルタネーターASSY、スタータモーターASSY、エレキパネルSET、実車
成績評価の方法と基準	<p>授業は、すべての時間出席しなければならない。また、遅刻早退、欠席した場合は補講を受講しなければならない。</p> <p>授業レポートを提出しなければ、試験を受験出来ない。</p> <p>試験は、学科、実技試験があり、100点満点中、合格60点以上の得点に達しなければ、卒業は出来ない。</p> <p>不合格者または、未受験者には再試験、追試験制度もある。</p> <p>総合評価は、学科試験点数、実技試験点数、平常点数を合計したものが評価となり、平常点数は、レポート30点、出席10点、行動10点を点数で評価する。</p>

トヨタ東自大シラバス

修得目標と授業計画

学科名	ボデークラフト科	実務経験を有する教員による授業 ○	
科目名	板金 I	分類	必修 選択必修 ・ 選択
履修時期	1年1学期	時限数	65 時限
担当者	トヨタ東京自動車大学校授業担当者名簿参照		学科: 10 時限 実習: 55 時限 1時限は、90分
授業内容	車両の基本構造を理解し、ボデー修理の基礎を身に付ける。		
修得目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボデー構造各部の名称、役割、材料を覚える。</li> <li>・ボデー修理(小ダメージ)で使用する工具、機器の取り扱いが出来る。</li> <li>・保護具の役割を覚える。安全作業が出来る。</li> </ul>		

授業計画

時限	項目	内 容	時限	項目	内 容
1	安全衛生・危険予知	ボディー修理作業安全の特異性・安全衛生活動(KYT)	34	バテ研ぎ4	複合面研ぎ
2	ボディー構造	ボディーの基本構造(フレーム・モック)	35	総合実習 1	小ダメージの総復習(実車、パネルスタンド)1
3	鋼板材料・種類	熱間圧延・冷間圧延・高張力・防錆鋼板の性質と特性	36	総合実習 2	小ダメージの総復習(実車、パネルスタンド)2
4	小ダメージの修理	小ダメージ車の一連作業	37	総合実習 3	小ダメージの総復習(実車、パネルスタンド)3
5	損傷範囲の確認	小ダメージ範囲の確認方法 効率的な作業方法	38	総合実習 4	小ダメージの総復習(実車、パネルスタンド)4
6	ハンマリング(パネル修正)	ハンマードリーによる修正(オン、オフドリー)	39	総合実習 5	小ダメージの総復習(実車、パネルスタンド)5
7	機器・工具取り扱い	エアー・電動・油圧機器取り扱い、工具・機器の名称と点検整備	40	スポット溶接1	スポット溶接の原理、スポットシーラーの塗布位置、電極チップの整形
8	ハンマリング1	ハンマーの持ち方・振り方、正しい打根跡、面修正の反復練習	41	スポット溶接2	電流調整、チップ電極アームの交換・点検、ジャンピング電流1
9	ハンマリング2	定盤ナラシ(ハンマリングによる打撃面チェック)	42	スポット溶接3	電流調整、チップ電極アームの交換・点検、ジャンピング電流2
10	ハンマリング3	オンドリー(パネルスタンド)ハンマードリーによる鋼板ナラシ	43	溶接 炭酸ガス1	炭酸ガスの原理1
11	ハンマリング4	ドリーの持ち方ドリーの選択、加工	44	溶接 炭酸ガス2	炭酸ガスの原理2
12	ハンマリング5	オフドリー(パネルスタンド)	45	ブラグ溶接1	電流調整、位置、溶接の状態
13	鋼板修正(小ダメ)	手順(損傷範囲確認→見積・作業方法の基本→作業時間の基準)	46	ブラグ溶接2	エアードリルの使い方、溶接時の動き1
14	ワッシャ溶植1	溶植手順・ワッシャ溶植の原理・絞り種類と原理	47	ブラグ溶接3	エアードリルの使い方、溶接時の動き2
15	ワッシャ溶植2	塗膜のはがしかた ワッシャ溶植の手順	48	溶接 課題	ブラグ溶接の課題 径5ミリ、8ミリそれぞれ3点
16	ワッシャ溶植3	パワーロックスタンドの使用法	49	溶接(突合せ)1	パネルのセット方法、溶接時のねらい、動き1
17	絞り作業、防錆	点絞り、カーボン絞りの要点、焼け跡の処理、防錆について	50	溶接(突合せ)2	パネルのセット方法、溶接時のねらい、動き2
18	絞りの手順	絞りの手順(タイマー、電流)カーボン絞り	51	粗切り	切削時の安全、粗切り用工具
19	実車ダメージ修正1	損傷確認～鋼板修正1	52	ナゲット切削	スポットカッター、スポットルの使い分け
20	実車ダメージ修正2	損傷確認～鋼板修正2	53	粗切り	ブラズマ、パネルカッター、エアーソー、ガス切断
21	実車ダメージ修正3	鋼板修正	54	実技復習1	各作業練習1
22	実車ダメージ修正4	鋼板修正～塗膜のはがし	55	実技復習2	各作業練習2
23	実車ダメージ修正5	鋼板修正～絞り	56	実技復習3	各作業練習3
24	バテ整形	ファイル・ペーパーの使い分け・チェック方法(目視・定量的)	57	実技復習4	各作業練習4
25	バテへの加工	新品バテへの加工方法	58	実技復習5	各作業練習5
26	バテ練り	バテ練り への動かし方、バテ定盤の使い方	59	学科復習	各項目確認
27	フェザーエッジ	フェザーエッジの作り方	60	まとめ1	実習場4S1
28	バテ塗布1	バテ塗布(硬化剤あり)	61	まとめ2	実習場4S2
29	バテ塗布2	ドア等の単純面	62	まとめ3	実習場4S3
30	バテ塗布3	複合面の盛り方	63	学科試験	学科試験
31	バテ研ぎ1	バテ研ぎファイルの種類、ペーパーの使える目安	64	実技復習1	実技試験1
32	バテ研ぎ2	機械研ぎ(エアー工具を使った機械研ぎ)	65	実技復習1	実技試験1
33	バテ研ぎ3	単純面研ぎ			

授業外学習	4時限分の授業レポートをまとめるために、1～2時間かかりこれが1日の復習となる。
教科書	・車体整備、ボデー&ペイントテキストボデー編
教材	・ドアパネルスタンド、ドアアウターパネル、SCP10
成績評価の方法と基準	<p>授業は、すべての時間出席しなければならない。また、遅刻早退、欠席した場合は補講を受講しなければならない。</p> <p>授業レポートを提出しなければ、試験を受験出来ない。</p> <p>試験は、学科、実技試験があり、合格点は、100点満点の60点以上取らなければ、卒業は出来ない。</p> <p>不合格者または、未受験者には再試験、追試験制度もある。</p> <p>総合評価は、平常点及び学科試験・実技試験を合計したものが評価となる。平常点は、レポート30点、出席10点、行動10点を点数で評価する。</p>

トヨタ東自大シラバス

修得目標と授業計画

学科名	ボデークラフト科	実務経験を有する教員による授業 ○	
科目名	塗 装 I	分類	必修 ・ 選択必修 ・ 選択
履修時期	1年1学期	時限数	65 時限
担当者	トヨタ東京自動車大学校授業担当者名簿参照	学科:	12 時限
		実習:	53 時限 1時限は、90分
授業内容	・塗装作業を実施していく上での基本知識、基本技術を身につける。(設備、安全教育、塗装知識・技術)		
修得目標	・塗装の目的を理解し、有機溶剤取扱いの安全知識を身につける。 ・スプレーガン、ポリッシャーが適切に使用出来る。 ・下地処理、調色、マスキング、上塗り、磨きの基本作業が出来る。		

授業計画

時限	項 目	内 容	時限	項 目	内 容
1	オリエンテーション、安全衛生	塗装作業の安全と衛生	34	実車総合	外装部品の取り外し
2	適正検査	色相配列検査、色彩能力テスト(3点識別テスト)	35	マスキング1	マスキングの目的と必要性・塗装形態とマスキング・マスキングに必要な機器、機材
3	スプレーガン知識	ガンの原理、種類、構造、運行、洗浄(ビデオ)、不具合	36	マスキング2	フード、フェンダーのマスキング
4	水拭き	吹き付け基本動作・ガン調整	37	マスキング3	リヤドアのマスキング、ドアキャッチ、サイドモール
5	塗料と塗装の基礎知識	塗装の目的、塗料の成分、乾燥のしくみ	38	実車総合 下地処理1	ブラサフ用足付け1
6	下地処理	下地処理の目的と工程	39	実車総合 下地処理2	ブラサフ用足付け2
7	パネル足付け	足付けの目的・機器取り扱い・足付けの方法	40	実車総合 マスキング1	マスキング実施1
8	下地塗装(ブラサフ)1	パネル足付け、必要性1	41	実車総合 マスキング2	マスキング実施2
9	下地塗装(ブラサフ)2	パネル足付け、必要性2	42	ブロック塗装(リット)1	塗り継ぎ塗装、塗装方法、ガン操作1
10	下地塗装(ブラサフ)3	パネル足付け、必要性3	43	ブロック塗装(リット)2	塗り継ぎ塗装、塗装方法、ガン操作2
11	足付け	ブラサフの足付け	44	ブロック塗装(リット)3	塗り継ぎ塗装、塗装方法、ガン操作3
12	上塗り(ソリッド)1	ドアウターパネルの塗り(O41)1	45	ブロック塗装(リット)4	塗り継ぎ塗装、塗装方法、ガン操作4
13	上塗り(ソリッド)2	ドアウターパネルの塗り(O41)2	46	ブロック塗装(リット)5	塗り継ぎ塗装、塗装方法、ガン操作5
14	磨き1	必要機器、方法1	47	ブロック塗装(メタリック)	メタリック、ブロック塗装用足付け
15	磨き2	必要機器、方法2	48	実車総合 マスキング1	マスキング実施1
16	調色	調色の目的・調色に必要な知識・調色に必要な機器	49	実車総合 マスキング2	マスキング実施2
17	調色(ソリッド)1	見本パネルに合わせ調色(O41)1	50	実車総合 マスキング3	マスキング実施3
18	調色(ソリッド)2	見本パネルに合わせ調色(O41)2	51	実車総合(176塗装)1	ブロック塗装 メタリック1
19	上塗り(O41ソリッド)1	ボカシ用パネルのブロック塗り・ボカシ塗装方法・ガン操作1	52	実車総合(176塗装)2	ブロック塗装 メタリック2
20	上塗り(O41ソリッド)2	ボカシ用パネルのブロック塗り・ボカシ塗装方法・ガン操作2	53	実車総合(176塗装)3	ブロック塗装 メタリック3
21	ボカシ磨き	ボカシ部のミガキ方法	54	実車総合(176塗装)4	ブロック塗装 メタリック4
22	上塗り(メタリック)1	メタリックの吹き方・ソリッドとメタリックの違い・メタリック顔料・特殊顔料	55	実車総合(176塗装)5	ブロック塗装 メタリック5
23	上塗り(メタリック)2	パネル足付け、	56	実車総合 磨き1	磨き実施1
24	上塗り(メタリック)3	ドアパネル塗装1	57	実車総合 磨き2	磨き実施2
25	上塗り(メタリック)4	ドアパネル塗装2	58	実車総合 部品取付	部品取付け
26	上塗り(メタリック)5	ドアパネル塗装3	59	樹脂バンパー	補習方法、特殊塗装
27	上塗り(メタリック)6	ドアパネル塗装4	60	まとめ1	実習場4S1
28	調色(メタリック)1	スプレー条件(ウエット、ドライによる色の違い、正面、スジ、の見方)	61	まとめ2	実習場4S2
29	調色(メタリック)2	見本パネルに合わせ調色(8D8、176)	62	まとめ3	実習場4S3
30	ボカシ塗装(メタ)1	ボカシ塗装の足付け方法、ボカシブロック塗装1	63	学科試験	学科試験
31	ボカシ塗装(メタ)2	ボカシ塗装の足付け方法、ボカシブロック塗装2	64	実技試験1	実技試験1
32	ボカシ塗装(メタ)3	ボカシ塗装の足付け方法、ボカシブロック塗装3	65	実技試験2	実技試験2
33	ボデーシーラ	ボデーシーラの目的・必要性・塗布方法塗布箇所	66		

授業外学習	4時限分の授業レポートをまとめるために、1～2時間かかればこれが1日の復習となる。
教科書	ペイントテキスト、ペイントビジュアルマニュアル(DVD)
教材	スプレーガン、塗装練習用パネル、ポリッシャー、計量器、その他(塗料、研磨材、マスキング材、磨き材)
成績評価の方法と基準	授業は、すべての時間出席しなければならない。また、遅刻早退、欠席した場合は補講を受講しなければならない。 授業レポートを提出しなければ、試験を受験出来ない。 試験は、学科、実技試験があり、合格点は、100点満点の60点以上取らなければ、進級、卒業は出来ない。 不合格者または、未受験者には再試験、追試験制度もある。 総合評価は、平常点及び学科試験・実技試験を合計したものが評価となる。平常点数は、レポート30点、出席10点、行動10点を点数で評価する。

トヨタ東自大シラバス

修得目標と授業計画

学科名	ボデークラフト科	実務経験を有する教員による授業		
科目名	営業・工場管理 I	分類	必修・選択必修・選択	
履修時期	1年1学期	時限数	43	時限
担当者	トヨタ東京自動車大学校授業担当者名簿参照		学科:	43 時限
			実習:	0 時限 1時限は、90分
授業内容	トヨタサービスの一員として日常業務遂行に欠かせない知識、能力を身につける 社会人・職業人としてスタートするのに必要な心構え、基礎能力を身につける			
修得目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事に対する取り組み姿勢、人間関係・マナー、業務知識とオペレーション能力を身につける。</li> <li>ビジネスとコミュニケーションの基本を身につける。</li> <li>仕事の実践とビジネスツール、社会で活躍するために必要な知識を身につける。</li> </ul>			

授業計画

時限	項目	内 容	時限	項目	内 容
1	業務1ステップ 1	1. 仕事の心がまえ、2. トヨタサービスの精神	31	ビジネス検定2級 17	演習問題2の解答、解説
2	業務1ステップ 2	2. トヨタサービスの精神	32	ビジネス検定2級 18	演習問題3
3	業務1ステップ 3	3. サービス部門の役割、4. 4Sの推進	33	ビジネス検定2級 19	演習問題3の解答、解説
4	業務1ステップ 4	1. エチケット・マナー、2. 電話対応の基本	34	ビジネス検定2級 20	演習問題4
5	業務1ステップ 5	2. 電話対応の基本1. 業務知識の基本、2. 接客対応の基本	35	ビジネス検定2級 21	演習問題4の解答、解説
6	業務1ステップ 6	2. 接客対応の基本、3. 部品業務の基本	36	期末テスト 1	期末テスト
7	業務1ステップ 7	3. 部品業務の基本、4. 帳票の記入	37	期末テスト 2	期末テストの解説
8	業務1ステップ 8	4. 帳票の記入、5. 保証	38	期末テスト 3	演習問題5
9	業務1ステップ 9	6. 作業の確認、7. 1フォロー	39	期末テスト 4	演習問題5の解答、解説
10	中間テスト	中間テスト	40	期末テスト 5	演習問題6
11	ビジネス検定導入 1	ビジネスとコミュニケーションの基本	41	期末テスト 6	演習問題6の解答、解説 受験にあたっての諸注意
12	ビジネス検定導入 2	ビジネス能力検定3級演習問題	42	ビジネス能力検定2級1	検定試験
13	ビジネス検定導入 3	仕事の実践とビジネスツール	43	検定試験 解説	ビジネス能力検定ジョブパス2級試験 解答、解説
14	ビジネス検定導入 4	ビジネス能力検定3級演習問題	44		
15	ビジネス検定2級 1	1. キャリアと仕事へのアプローチ	45		
16	ビジネス検定2級 2	2. 会社活動の基本	46		
17	ビジネス検定2級 3	3. 話し方と聞き方のポイント	47		
18	ビジネス検定2級 4	4. 接客と営業の進め方	48		
19	ビジネス検定2級 5	5. 不満を信頼に変えるクレーム対応、会議への出席	49		
20	ビジネス検定2級 6	6. チームワークと人のネットワーク	50		
21	ビジネス検定2級 7	7. 仕事の進め方、ビジネス文書の基本	51		
22	ビジネス検定2級 8	8. 統計・データの読み方、まとめ方	52		
23	ビジネス検定2級 9	9. 情報収集とメディアの活用	53		
24	ビジネス検定2級 10	10. 会社数字の読み方	54		
25	ビジネス検定2級 11	11. ビジネスと法律・税金知識	55		
26	ビジネス検定2級 12	12. 産業と経済の基礎知識	56		
27	ビジネス検定2級 13	13. 会社で活躍するために必要な知識	57		
28	ビジネス検定2級 14	演習問題1	58		
29	ビジネス検定2級 15	演習問題1の解答、解説	59		
30	ビジネス検定2級 16	演習問題2	60		

授業外学習	・メンテナンスノート確認30分 ・演習問題7・8を各自実施60分
教科書	トヨタサービス業務テキスト 1ステップ、2ステップ、3ステップ、4ステップ ビジネス能力検定ジョブパス2級公式テキスト
教材	教育用メンテナンスノート
成績評価の方法と基準	授業は、すべての時間出席しなければならない。また、遅刻早退、欠席した場合は補講を受講しなければならない。 授業レポートを提出しなければならない。試験を受験出来ない。 試験は、学科試験があり、合格点は、100点満点の60点以上取らなければならない。進級、卒業は出来ない。 不合格者または、未受験者には再試験、追試験制度もある。 総合評価は、平常点及び学科試験が評価となる。平常点は、行動点を50点数で評価する。

トヨタ東自大シラバス

修得目標と授業計画

学科名	ボデークラブト科	実務経験を有する教員による授業	
科目名	自主研究 I	分類	必修 選択必修 ・ 選択
履修時期	1年1学期	時限数	35 時限
担当者	トヨタ東京自動車大学校授業担当者名簿参照		学科: 4 時限 実習: 31 時限 1時限は、90分
授業内容	板金、塗装技術の中から特化した研究課題を立案する。		
修得目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板金、塗装技術の向上が出来る。</li> <li>・板金、塗装作業探求し、研究課題や作業内容の立案が出来る。</li> <li>・保護具の役割を理解する。・安全作業ができる。</li> </ul>		

授業計画

時限	項目	内 容	時限	項目	内 容
1	導入1	自主研究について1	31	作業研究26	自己課題に応じた作業練習を行う26
2	導入2	自主研究について2	32	まとめ1	研究成果の発表1
3	課題探求1	板金、塗装を研究し自己課題を見つける。1	33	まとめ2	研究成果の発表2
4	課題探求2	板金、塗装を研究し自己課題を見つける。2	34	まとめ3	研究成果の発表3
5	作業準備	自己課題に応じた準備を行う。	35	まとめ4	研究成果の発表4
6	作業研究1	自己課題に応じた作業練習を行う1	36		
7	作業研究2	自己課題に応じた作業練習を行う2	37		
8	作業研究3	自己課題に応じた作業練習を行う3	38		
9	作業研究4	自己課題に応じた作業練習を行う4	39		
10	作業研究5	自己課題に応じた作業練習を行う5	40		
11	作業研究6	自己課題に応じた作業練習を行う6	41		
12	作業研究7	自己課題に応じた作業練習を行う7	42		
13	作業研究8	自己課題に応じた作業練習を行う8	43		
14	作業研究9	自己課題に応じた作業練習を行う9	44		
15	作業研究10	自己課題に応じた作業練習を行う10	45		
16	作業研究11	自己課題に応じた作業練習を行う11	46		
17	作業研究12	自己課題に応じた作業練習を行う12	47		
18	作業研究13	自己課題に応じた作業練習を行う13	48		
19	作業研究14	自己課題に応じた作業練習を行う14	49		
20	作業研究15	自己課題に応じた作業練習を行う15	50		
21	作業研究16	自己課題に応じた作業練習を行う16	51		
22	作業研究17	自己課題に応じた作業練習を行う17	52		
23	作業研究18	自己課題に応じた作業練習を行う18	53		
24	作業研究19	自己課題に応じた作業練習を行う19	54		
25	作業研究20	自己課題に応じた作業練習を行う20	55		
26	作業研究21	自己課題に応じた作業練習を行う21	56		
27	作業研究22	自己課題に応じた作業練習を行う22	57		
28	作業研究23	自己課題に応じた作業練習を行う23	58		
29	作業研究24	自己課題に応じた作業練習を行う24	59		
30	作業研究25	自己課題に応じた作業練習を行う25	60		

授業外学習	・4時限の研究課題のまとめに1～2時間かかり、これが1日の復習となる。
教科書	・車体整備、ボデー&ペイントテキストボデー編、ボデー&ペイントテキストペイント編
教材	・研究課題により車両等 スプレーガン、塗装練習用パネル、ポリッシャー、計量器
成績評価の方法と基準	授業は、すべての時間出席しなければならない。また、遅刻早退、欠席した場合は補講を受講しなければならない

トヨタ東自大シラバス

修得目標と授業計画

学科名	ボデークラフト科	実務経験を有する教員による授業 ○	
科目名	総合整備Ⅱ	分類	必修・選択必修・選択
履修時期	1年2学期	時限数	27 時限
担当者	トヨタ東京自動車大学校授業担当者名簿参照		学科: 5 時限 実習: 22 時限 1時限は、90分
授業内容	HV車を用いた診断機器の使い方、多頻度作業		
修得目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイブリッド車の特徴を説明できる</li> <li>・GTS(外部診断機)の取り扱いが出来る</li> <li>・TSS装着車のエーミング作業の必要性を理解し調整が出来る</li> <li>・ECB車のブレーキフルード交換作業ができる</li> <li>・プロケア10の作業が出来る</li> </ul>		

授業計画

時限	項目	内 容	時限	項目	内 容
1	導入	授業の内容や目的、進め方の説明	31		
2	故障診断1	GTSの使い方、ヘルスチェック	32		
3	故障診断2	データモニター、作業サポート、アクティブテスト、	33		
4	故障診断3	安全装置(TSS)各センサー調整要領	34		
5	故障診断4	スマートエントリーシステムの作動、点検要領	35		
6	故障診断5	ハイブリッド車の取扱い	36		
7	多頻度作業Ⅰ 1	ECBについて	37		
8	多頻度作業Ⅰ 2	ハイブリッド車のブレーキフルード交換作業	38		
9	多頻度作業Ⅰ 3	作業訓練反復(ZVW30)	39		
10	多頻度作業Ⅰ 4	作業訓練反復(NHP10)	40		
11	多頻度作業Ⅱ 1	ISC装着車におけるウルトラソニックセンサー調整要領	41		
12	多頻度作業Ⅱ 2	作業訓練反復(ZVW55)	42		
13	多頻度作業Ⅱ 3	PCS装着車におけるミリ波レーダーの調整要領	43		
14	多頻度作業Ⅱ 4	作業訓練反復(ZVW55)	44		
15	多頻度作業Ⅲ 1	エアツール、システム台車の使い方	45		
16	多頻度作業Ⅲ 2	短時間車検の作業手順	46		
17	多頻度作業Ⅲ 3	短時間車検の作業手順(NCP30)	47		
18	多頻度作業Ⅲ 4	短時間車検の作業手順(NHW20)	48		
19	多頻度作業Ⅳ 1	プロケア10の作業手順、点検要領、帳票記入	49		
20	多頻度作業Ⅳ 2	上記作業訓練の反復(NCP30)	50		
21	多頻度作業Ⅳ 3	ハイブリッド車のプロケア10作業手順、点検要領	51		
22	多頻度作業Ⅳ 4	上記作業訓練の反復(NHP10)	52		
23	実車走行確認テスト1	多目的広場にて確認走行テスト(ZVW30)	53		
24	実車走行確認テスト2	多目的広場にて確認走行テスト(ZVW40)	54		
25	実車走行確認テスト3	多目的広場にて確認走行テスト(ZVW51)	55		
26	学科試験	試験	56		
27	実技試験	試験	57		
28			58		
29			59		
30			60		

授業外学習	4時限分の授業レポートをまとめるために、1～2時間かかりこれが1日の復習となる。
教科書	プリウス、アクアの各電子技術マニュアル、取扱い説明書
教材	GTS、VIM、システム台車一式、HV車(プリウス20、30、40、55、アクア)、ガソリン車(bB)、
成績評価の方法と基準	<p>授業は、すべての時間出席しなければならない。また、遅刻早退、欠席した場合は補講を受講しなければならない。</p> <p>授業レポートを提出しなければ、試験を受験出来ない。</p> <p>試験は、学科、実技試験があり、100点満点中、合格60点以上の得点に達しなければ、進級、卒業は出来ない。</p> <p>不合格者または、未受験者には再試験、追試験制度もある。</p> <p>総合評価は、学科試験点数、実技試験点数、平常点数を合計したものが評価となり、平常点数は、レポート30点、出席10点、行動10点を点数で評価する。</p>

トヨタ東自大シラバス

修得目標と授業計画

学科名	ボデークラフト科	実務経験を有する教員による授業 ○	
科目名	総合整備Ⅲ	分類	必修・選択必修・選択
履修時期	1年2学期	時限数	26 時限
担当者	トヨタ東京自動車大学校授業担当者名簿参照		学科: 7 時限 実習: 19 時限 1時限は、90分
授業内容	インターン実習に向けた多頻度作業訓練		
修得目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納車準備(洗車、室内清掃)が出来るようになる</li> <li>・フロントガラス撥水コーティング作業(手作業)が出来るようになる</li> <li>・エンジンオイル、エレメント交換作業が出来るようになる</li> <li>・タイヤ交換、バランス調整作業が出来るようになる。</li> <li>・部品の知識、プロのエンジニアとしての基本動作、販売店での立ち居振る舞いが出来る。</li> </ul>		

授業計画

時限	項目	内 容	時限	項目	内 容
1	導入	授業の内容や目的、進め方の説明	31		
2	多頻度作業Ⅰ 1	洗車(外装清掃)、室内清掃(内装清掃)	32		
3	多頻度作業Ⅰ 2	上記作業訓練の反復 1	33		
4	多頻度作業Ⅰ 3	上記作業訓練の反復 2	34		
5	多頻度作業Ⅱ 1	フロントガラス撥水コーティング	35		
6	多頻度作業Ⅱ 2	上記作業訓練の反復 1	36		
7	多頻度作業Ⅱ 3	上記作業訓練の反復 2	37		
8	多頻度作業Ⅲ 1	エンジンオイル、オイルエレメント交換	38		
9	多頻度作業Ⅲ 2	上記作業訓練の反復 1	39		
10	多頻度作業Ⅲ 3	上記作業訓練の反復 2	40		
11	多頻度作業Ⅳ 1	タイヤ交換、ホイールバランス調整	41		
12	多頻度作業Ⅳ 2	上記作業訓練の反復 1	42		
13	多頻度作業Ⅳ 3	上記作業訓練の反復 2	43		
14	消耗部品の知識 1	エンジンオイル、オイルフィルター	44		
15	消耗部品の知識 2	タイヤ、バッテリー	45		
16	消耗部品の知識 3	エアコンフィルター、ワイパーゴム	46		
17	販売店スタッフとして1	プロのエンジニアとしての基本動作	47		
18	販売店スタッフとして2	トヨタ販売店のルール	48		
19	販売店スタッフとして3	販売店店舗での立ち居振る舞い	49		
20	習得状況の確認 1	擬似顧客車両1を用いて受付～作業	50		
21	習得状況の確認 2	擬似顧客車両1を用いて作業	51		
22	習得状況の確認 3	擬似顧客車両1を用いて作業～引渡し	52		
23	習得状況の確認 4	擬似顧客車両2を用いて受付～作業	53		
24	習得状況の確認 5	擬似顧客車両2を用いて作業	54		
25	習得状況の確認 6	擬似顧客車両2を用いて作業～引渡し	55		
26	習得状況の確認 7	まとめ	56		
27			57		
28			58		
29			59		
30			60		

授業外学習	4時限分の授業レポートをまとめるために、1～2時間かかりこれが1日の復習となる。
教科書	プリウス、アクアの各電子技術マニュアル、取扱い説明書
教材	GTS、VIM、HV車(プリウス30、40、55、アクア)、オールドレイン、タイヤチェンジャー、ホイールバルancer、洗車道具一式
成績評価の方法と基準	授業は、すべての時間出席しなければならない。また、遅刻早退、欠席した場合は補講を受講しなければならない。

トヨタ東自大シラバス

修得目標と授業計画

学科名	ボデークラフト科	実務経験を有する教員による授業 ○	
科目名	板金Ⅱ	分類	必修 選択必修 選択
履修時期	1年2学期	時限数	57 時限
担当者	トヨタ東京自動車大学校授業担当者名簿参照		学科: 7 時限 実習: 50 時限 1時限は、90分
授業内容	・板金Ⅰで学習した内容を基に溶接系外板部品の交換		
修得目標	・中ダメージ車両の修理方法を立案し板金修理が出来る。 ・寸法計測器、フレーム修正機の取り扱いが出来る。・建付け、防錆作業が出来るようになる。 ・保護具の役割を理解して、安全作業が出来る。		

授業計画

時限	項目	内 容	時限	項目	内 容
1	Rrダメージ修正の説明	グループ分け、修正機の配置、車両の確認	31	バテ整形	一学期の復習
2	車両の分解	メカ工具の配布と確認、艦装品分解	32	仮組み1	交換部品を仮組みして寸法だしをする
3	車両ダメージ入力	バックパネル正面よりクォーター後部までダメージ入力	33	仮組み2	艦装品を仮組みして建て付け調整をする
4	損傷診断	損傷確認の手順に沿って細部まで見落としの無いように確認する	34	溶接準備	艦装品などをとりはずして溶接準備をする
5	作業計画	各グループで作業計画を立てる	35	溶接1	外板のプレスラインから順番に仮付けしていく
6	ボデー構造	一学期の復習	36	溶接2	スポット溶接(溶接部が密着していることを確認して溶接する)
7	事前準備1	作業を分析しながら部品、工具など段取りできる部分を準備する1	37	溶接3	ブラグ溶接(溶接強度が出ているか、溶接品質は確保されているか)
8	事前準備2	作業を分析しながら部品、工具など段取りできる部分を準備する2	38	溶接4	突合せ溶接(熱を一箇所に溜めないように冷却しながら溶接する)
9	付属部品はずし	修正に関する場所の部品をとりはずす	39	溶接5	寸法確認をしながら、溶接する
10	修理書の説明	修理書の見方と確認方法、寸法図の説明など	40	溶接仕上げ	見える部分、隠れる部分など修理書でよく確認してしあげる
11	鋼板材料	自動車に使われる鋼板材料について	41	修正機リセット1	修正機から降ろす1
12	ラッゲージ取り付け	新品部品の取り扱い、組みつけ手順、寸法だしについて	42	修正機リセット2	修正機から降ろす2
13	修正機セット	修正機の取り扱いと安全について	43	防錆処理	溶接部の焼け跡などしっかり処理する
14	整体出し	修正機とボデーの整体を出す	44	艦装品組み付け1	艦装品を組み付けて建て付け調整をする(外観重視)1
15	基準寸法だし	仮想基準線とベンチの基準寸法をだして測定寸法との計算を出す	45	艦装品組み付け2	艦装品を組み付けて建て付け調整をする(外観重視)2
16	ボデー計測	ダメージの入り具合を寸法計測により正確に把握する	46	建て付け調整1	隙間をあわせる
17	アライニング1	一学期の復習	47	建て付け調整2	段差をあわせる
18	アライニング2	ダメージの入力方向、大きさを考えながらアライニング作業を計画する	48	建て付け調整3	偏差をあわせる
19	アライニング3	各部の寸法を確認しながら、正確なアライニングをする	49	完成検査	修理品質は確保されているか確認する
20	アライニング4	残留応力と応力抜きハンマリング	50	学科復習1	各項目確認1
21	部品確認	取替え部品の品番確認、形状確認	51	学科復習2	各項目確認2
22	2次損傷防止	作業をすることによって起こる	52	まとめ1	実習場4S1
23	粗切り	交換部品のはがしをしやすくするために、粗切りをする	53	まとめ2	実習場4S2
24	鋼板修正	一学期の復習	54	学科試験1	学科試験1
25	精度確認	残す側の部品を新品部品の精度に合わせるために修復する	55	学科試験2	学科試験2
26	重ねきり準備	外板部の突合せ溶接実施箇所を重ねきりする為にテーピングする	56	実技試験1	実技試験1
27	パネルの取り外し	交換部品をすべてはがして、穴のあいた部分などは穴埋めする。	57	実技試験2	実技試験2
28	溶接準備1	ボデー側の溶接準備をする(脱脂清掃→スポットシーラー塗布)	58		
29	溶接準備2	交換部品側の溶接準備をする(ブラグ穴あけ→スポットシーラー塗布)	59		
30	溶接準備3	ボデーシーラー塗布(ホイールアーチ部にボデーシーラーを塗布する)	60		

授業外学習	・板金Ⅰのレポート確認60分 ・4時限分の授業レポートをまとめるために、1~2時間かかればこれが1日の復習となる。
教科書	・車体整備、ボデー&ペイントテキストボデー編
教材	・フレーム修正機、スポット溶接機、炭酸ガスアーク溶接機、SCP10
成績評価の方法と基準	授業は、すべての時間出席しなければならない。また、遅刻早退、欠席した場合は補講を受講しなければならない。 授業レポートを提出しなければ、試験を受験出来ない。 試験は、学科、実技試験があり、合格点は、100点満点の60点以上取らなければならない、卒業は出来ない。 不合格者または、未受験者には再試験、追試験制度もある。 総合評価は、平常点及び学科試験・実技試験を合計したものが評価となる。平常点数は、レポート30点、出席10点、行動10点を点数で評価する。



トヨタ東自大シラバス

修得目標と授業計画

学科名	ボデークラフト科	実務経験を有する教員による授業 ○	
科目名	塗 装 Ⅱ	分類	必修 選択必修 選択
履修時期	1年2学期	時限数	57 時限
担当者	トヨタ東京自動車大学校授業担当者名簿参照		学科: 6 時限 実習: 51 時限 1時限は、90分
授業内容	実車両の全塗装		
修得目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塗装技術の知識を向上させる</li> <li>・車両に合わせたマスキングができる。</li> <li>・既に学んだ技術は1人で出来るようになる。</li> </ul>		

授業計画

時限	項 目	内 容	時限	項 目	内 容
1	実車総合(041ソリッド)1	パテ作業を含む下地処理、マスキング、ブラサフ塗装1	31	実車総合(メタリック)10	上塗り(オリジナルメタリックカラー)1
2	実車総合(041ソリッド)2	パテ作業を含む下地処理、マスキング、ブラサフ塗装2	32	実車総合(メタリック)11	上塗り(オリジナルメタリックカラー)2
3	実車総合(041ソリッド)3	パテ作業を含む下地処理、マスキング、ブラサフ塗装3	33	まとめ	学科試験
4	実車総合(041ソリッド)4	パテ作業を含む下地処理、マスキング、ブラサフ塗装4	34	まとめ	実技試験
5	実車総合(041ソリッド)5	パテ作業を含む下地処理、マスキング、ブラサフ塗装5	35	実車総合(メタリック)1	上塗り(オリジナルメタリックカラー)1
6	実車総合(041ソリッド)6	パテ作業を含む下地処理、マスキング、ブラサフ塗装6	36	実車総合(メタリック)2	上塗り(オリジナルメタリックカラー)2
7	実車総合(041ソリッド)7	パテ作業を含む下地処理、マスキング、ブラサフ塗装7	37	実車総合(メタリック)3	上塗り(オリジナルメタリックカラー)3
8	実車総合(041ソリッド)8	パテ作業を含む下地処理、マスキング、ブラサフ塗装8	38	実車総合(メタリック)4	上塗り(オリジナルメタリックカラー)4
9	実車総合(041ソリッド)9	上塗りマスキング1	39	実車総合(メタリック)5	上塗り(オリジナルメタリックカラー)5
10	実車総合(041ソリッド)10	上塗りマスキング2	40	実車総合(メタリック)6	上塗り(オリジナルメタリックカラー)6
11	実車総合(041ソリッド)11	上塗りマスキング3	41	実車総合(メタリック)7	乾燥
12	実車総合(041ソリッド)12	上塗り 041ソリッド計量調色1	42	実車総合(メタリック)8	実車の磨き1
13	実車総合(041ソリッド)13	上塗り 041ソリッド計量調色2	43	実車総合(メタリック)9	実車の磨き2
14	実車総合(041ソリッド)14	上塗り 041ソリッド計量調色3	44	実車総合(メタリック)10	実車の磨き3
15	実車総合(041ソリッド)15	上塗り 041ソリッド計量調色4	45	実車総合(メタリック)11	実車の磨き4
16	実車総合(041ソリッド)16	上塗り 041ソリッド計量調色5	46	実車総合(メタリック)12	サッシブラック塗装、耐チップ塗装1
17	実車総合(041ソリッド)17	上塗り 041ソリッド計量調色6	47	実車総合(メタリック)13	サッシブラック塗装、耐チップ塗装2
18	実車総合(041ソリッド)18	上塗り 041ソリッド計量調色7	48	実車総合(メタリック)14	サッシブラック塗装、耐チップ塗装3
19	実車総合(041ソリッド)19	上塗り 041ソリッド計量調色8	49	実車総合(メタリック)15	部品取付け1
20	実車総合(041ソリッド)20	上塗り 041ソリッド計量調色9	50	実車総合(メタリック)16	部品取付け2
21	実車総合(041ソリッド)21	乾燥	51	実車総合(メタリック)17	仕上げ
22	実車総合(メタリック)1	足付け1	52	学科復習1	各項目確認1
23	実車総合(メタリック)2	足付け2	53	学科復習2	各項目確認2
24	実車総合(メタリック)3	足付け3	54	学科試験1	学科試験1
25	実車総合(メタリック)4	足付け4	55	学科試験2	学科試験2
26	実車総合(メタリック)5	足付け5	56	実技試験1	実技試験1
27	実車総合(メタリック)6	マスキング1	57	実技試験2	実技試験2
28	実車総合(メタリック)7	マスキング2	58		
29	実車総合(メタリック)8	マスキング3	59		
30	実車総合(メタリック)9	マスキング4	60		

授業外学習	・塗装Ⅰのレポート確認60分 ・4時限分の授業レポートをまとめるために、1～2時間かかれば1日の復習となる。
教科書	ペイントテキスト、ペイントビジュアルマニュアル(DVD)
教材	車両(塗装用)、スプレーガン、ポリッシャー、計量器、その他(塗料、研磨材、マスキング材、磨き材)
成績評価の方法と基準	<p>授業は、すべての時間出席しなければならない。また、遅刻早退、欠席した場合は補講を受講しなければならない。</p> <p>授業レポートを提出しなければ、試験を受験出来ない。</p> <p>試験は、学科、実技試験があり、100点満点中60点以上の得点に達しなければ、卒業は出来ない。</p> <p>不合格者または、未受験者には再試験、追試験制度もある。</p> <p>総合評価は、平常点及び学科試験、実技試験、を合計したものが評価となり、平常点数は50点中、レポート30点、出席10点、行動10点を点数で評価する。</p>

トヨタ東自大シラバス

修得目標と授業計画

学科名	ボデークラフト科	実務経験を有する教員による授業	
科目名	営業・工場管理 II	分類	必修・選択必修・選択
履修時期	1年2学期	時限数	25 時限
担当者	トヨタ東京自動車大学校授業担当者名簿参照		学科: 25 時限 実習: 0 時限 1時限は、90分
授業内容	トヨタサービスの一員として日常業務遂行に欠かせない知識、能力を身に付ける		
修得目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事に対する取り組み姿勢の大切さを理解する。</li> <li>・人間関係・マナー、業務知識とオペレーション能力を身につける。</li> </ul>		

授業計画

時限	項目	内 容	時限	項目	内 容
1	業務2ステップ 1	トヨタサービスの仕事	31		
2	業務2ステップ 2	人間関係・マナー	32		
3	業務2ステップ 3	受付、受付練習ビデオ	33		
4	業務2ステップ 4	その他 受付後の処理	34		
5	業務2ステップ 5	技術情報、自賠責保険	35		
6	業務2ステップ 6	保証修理	36		
7	業務2ステップ 7	引渡し、引渡し練習ビデオ	37		
8	業務2ステップ 8	代金の受領、商品のご案内	38		
9	業務2ステップ 9	入庫お礼・調子伺い(電話対応ビデオ)	39		
10	業務2ステップ 10	入庫誘致～入庫準備	40		
11	業務3ステップ 1	魅力あふれる店舗づくり 業務改善	41		
12	業務3ステップ 2	活気あふれる職場づくり	42		
13	業務3ステップ 3	苦情対応	43		
14	業務3ステップ 4	苦情対応、事故車両修理受付	44		
15	業務3ステップ 5	事故車両修理受付	45		
16	業務3ステップ 6	保証修理(二次保証、再発行、SS保証)販売店間決済	46		
17	業務3ステップ 7	引き当て部品の管理、代金請求、売掛金	47		
18	業務3ステップ 8	商品の販売、DVD(商品コンサルティング)	48		
19	業務3ステップ 9	商品の販売、巻末資料説明	49		
20	業務4ステップ 1	仕事の見方、業務改善、指定・認証、利益	50		
21	業務4ステップ 2	リーダーシップの発揮	51		
22	業務4ステップ 3	高難度不具合車両の受付、苦情対応、特装車の受付	52		
23	業務4ステップ 4	保証修理、売掛金の回収	53		
24	業務4ステップ 5	車両販売の基礎知識	54		
25	期末試験	トヨタサービス業務テキスト2、3、4 STEP <60分>	55		
26			56		
27			57		
28			58		
29			59		
30			60		

授業外学習	・職場先輩用テキストSTEP1確認60分
教科書	トヨタサービス業務テキスト 2～4ステップ
教材	トヨタサービス業務ビデオ教材「これだけはやろう」①受付対応②引渡し対応③商品コンサルティング④電話対応
成績評価の方法と基準	<p>授業は、すべての時間出席しなければならない。また、遅刻早退、欠席した場合は補講を受講しなければならない。</p> <p>授業レポートを提出しなければ、試験を受験出来ない。</p> <p>試験は、学科試験があり、合格点は、100点満点の60点以上取らなければならない。卒業は出来ない。</p> <p>不合格者または、未受験者には再試験、追試験制度もある。</p> <p>総合評価は、平常点と学科試験が評価となる。平常点は、行動点を50点数で評価する。</p>

トヨタ東自大シラバス

修得目標と授業計画

学科名	ボデークラフト科	実務経験を有する教員による授業 ○	
科目名	エステメーション	分類	必修 ・ 選択必修 ・ 選択
履修時期	1年2学期	時限数	19 時限
担当者	トヨタ東京自動車大学校授業担当者名簿参照		学科: 14 時限 実習: 5 時限 1時限は、90分
授業内容	事故車の修理における板金塗装料金見積もり方法を学ぶ。		
修得目標	自動車の外板・外装部品の構造が判断できる 事故車の修理方法が判断できる 事故車の損傷診断が出来る 事故車の板金塗装料金の見積もりが出来るようになる		

授業計画

時限	項目	内 容	時限	項目	内 容
1	事故修理受付	事故修理受付、保険の知識	31		
2	見積もりとは	見積もりの重要性	32		
3	車両構造	車両構造、モノコック、機能部品	33		
4	鋼材の特性	鋼材の特性、修理方法の判断	34		
5	修理費用の設定	修理費用の設定、修理時間、関連作業、料金算定料	35		
6	ボデーの修理技術	修理技術、要素	36		
7	料金算定	標準作業時間のない作業の脱着、取替	37		
8	塗装の目的	塗装の基礎知識、塗料成分と乾燥	38		
9	塗装修理方法の判断	補修塗装方法の判断要素	39		
10	塗装作業時間の算出	標準作業時間の構成、標準条件	40		
11	見積書の作成手順	見積り手順・見積り方法	41		
12	板金塗装見積	ボデー修理料金の算出	42		
13	フロント見積り作成1	フロントダメージ車両の見積書を作成する1	43		
14	フロント見積り作成2	フロントダメージ車両の見積書を作成する2	44		
15	側面見積り作成1	側面ダメージ車両の見積書を作成する1	45		
16	側面見積り作成2	側面ダメージ車両の見積書を作成する2	46		
17	リヤ見積り作成	リヤダメージ車両の見積書を作成する1	47		
18	復習	リヤダメージ車両の見積書を作成する2	48		
19	学科試験	見積り業務の基礎知識、見積書作成	49		
20			50		
21			51		
22			52		
23			53		
24			54		
25			55		
26			56		
27			57		
28			58		
29			59		
30			60		

授業外学習	見積もり問題の復習1時間～2時間
教科書	エステメーションテキストステップ1、事故受付対応テキスト、トヨタ標準作業マニュアル
教材	ボデー修理料金表、ワークシート
成績評価の方法と基準	授業は、すべての時間出席しなければならない。また、遅刻早退、欠席した場合は補講を受講しなければならない。 試験は、学科試験があり、合格点は、100点満点の60点以上取らなければならない。卒業は出来ない。 不合格者または、未受験者には再試験、追試験制度もある。 総合評価は、学科試験が評価となる。

ヨタ東自大シラバス

修得目標と授業計画

学科名	ボデークラフト科	実務経験を有する教員による授業	
科目名	自主研究Ⅱ	分類	必修・選択必修・選択
履修時期	1年2学期	時限数	78 時限
担当者	トヨタ東京自動車大学校授業担当者名簿参照		学科: 1 時限 実習: 77 時限 1時限は、90分
授業内容	板金、塗装技術の中から特化した研究を行い発表をする。		
修得目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板金、塗装技術の向上が出来る。</li> <li>・研究した内容を発表を通して、報告することが出来る。</li> <li>・保護具の役割を理解する。・安全作業ができる。</li> </ul>		

授業計画

時限	項目	内 容	時限	項目	内 容
1	導入	自主研究について	40	自主研究37	研究課題に応じた作業を行う37
2	研究準備1	研究において必要な工具、機器、材料を準備する1	41	自主研究38	研究課題に応じた作業を行う38
3	研究準備2	研究において必要な工具、機器、材料を準備する2	42	自主研究39	研究課題に応じた作業を行う39
4	自主研究1	研究課題に応じた作業を行う1	43	自主研究40	研究課題に応じた作業を行う40
5	自主研究2	研究課題に応じた作業を行う2	44	自主研究41	研究課題に応じた作業を行う41
6	自主研究3	研究課題に応じた作業を行う3	45	自主研究42	研究課題に応じた作業を行う42
7	自主研究4	研究課題に応じた作業を行う4	46	自主研究43	研究課題に応じた作業を行う43
8	自主研究5	研究課題に応じた作業を行う5	47	自主研究44	研究課題に応じた作業を行う44
9	自主研究6	研究課題に応じた作業を行う6	48	自主研究45	研究課題に応じた作業を行う45
10	自主研究7	研究課題に応じた作業を行う7	49	自主研究46	研究課題に応じた作業を行う46
11	自主研究8	研究課題に応じた作業を行う8	50	自主研究47	研究課題に応じた作業を行う47
12	自主研究9	研究課題に応じた作業を行う9	51	自主研究48	研究課題に応じた作業を行う48
13	自主研究10	研究課題に応じた作業を行う10	52	自主研究49	研究課題に応じた作業を行う49
14	自主研究11	研究課題に応じた作業を行う11	53	自主研究50	研究課題に応じた作業を行う50
15	自主研究12	研究課題に応じた作業を行う12	54	自主研究51	研究課題に応じた作業を行う51
16	自主研究13	研究課題に応じた作業を行う13	55	自主研究52	研究課題に応じた作業を行う52
17	自主研究14	研究課題に応じた作業を行う14	56	自主研究53	研究課題に応じた作業を行う53
18	自主研究15	研究課題に応じた作業を行う15	57	自主研究54	研究課題に応じた作業を行う54
19	自主研究16	研究課題に応じた作業を行う16	58	自主研究55	研究課題に応じた作業を行う55
20	自主研究17	研究課題に応じた作業を行う17	59	自主研究56	研究課題に応じた作業を行う56
21	自主研究18	研究課題に応じた作業を行う18	60	自主研究57	研究課題に応じた作業を行う57
22	自主研究19	研究課題に応じた作業を行う19	61	自主研究58	研究課題に応じた作業を行う58
23	自主研究20	研究課題に応じた作業を行う20	62	自主研究59	研究課題に応じた作業を行う59
24	自主研究21	研究課題に応じた作業を行う21	63	自主研究60	研究課題に応じた作業を行う60
25	自主研究22	研究課題に応じた作業を行う22	64	自主研究61	研究課題に応じた作業を行う61
26	自主研究23	研究課題に応じた作業を行う23	65	自主研究62	研究課題に応じた作業を行う62
27	自主研究24	研究課題に応じた作業を行う24	66	自主研究63	研究課題に応じた作業を行う63
28	自主研究25	研究課題に応じた作業を行う25	67	自主研究64	研究課題に応じた作業を行う64
29	自主研究26	研究課題に応じた作業を行う26	68	自主研究65	研究課題に応じた作業を行う65
30	自主研究27	研究課題に応じた作業を行う27	69	自主研究66	研究課題に応じた作業を行う66
31	自主研究28	研究課題に応じた作業を行う28	70	自主研究67	研究課題に応じた作業を行う67
32	自主研究29	研究課題に応じた作業を行う29	71	自主研究68	研究課題に応じた作業を行う68
33	自主研究30	研究課題に応じた作業を行う30	72	自主研究69	研究課題に応じた作業を行う69
34	自主研究31	研究課題に応じた作業を行う31	73	自主研究70	研究課題に応じた作業を行う70
35	自主研究32	研究課題に応じた作業を行う32	74	まとめ1	まとめ1
36	自主研究33	研究課題に応じた作業を行う33	75	まとめ2	まとめ2
37	自主研究34	研究課題に応じた作業を行う34	76	まとめ3	まとめ3
38	自主研究35	研究課題に応じた作業を行う35	77	実技試験1	自主研究内容を発表1
39	自主研究36	研究課題に応じた作業を行う36	78	実技試験2	自主研究内容を発表2

授業外学習	・4時限の研究課題のまとめに1～2時間かかり、これが1日の復習となる。
教科書	・車体整備、ボデー&ペイントテキストボデー編、ボデー&ペイントテキストペイント編
教材	・研究課題により車両等 スプレーガン、塗装練習用パネル、ポリッシャー、計量器
成績評価の方法と基準	<p>授業は、すべての時間出席しなければならない。また、遅刻早退、欠席した場合は補講を受講しなければならない。</p> <p>授業レポートを提出しなければならない。試験を受験出来ない。</p> <p>試験は、実技試験があり、合格点は、100点満点の60点以上取らなければならない。卒業は出来ない。</p> <p>不合格者または、未受験者には再試験、追試験制度もある。</p> <p>総合評価は、平常点と実技試験が評価となる。平常点は、レポート30点、出席10点、行動10点を点数で評価する。</p>

トヨタ東自大シラバス

修得目標と授業計画

学科名	ボデークラフト科	実務経験を有する教員による授業	
科目名	インターンシップ(実務実習)	分類	必修・選択必修・選択
履修時期	1年3学期	時限数	68 時限
担当者	トヨタ東京自動車大学校授業担当者名簿参照		学科: 時限 実習: 68 時限 1時限は、90分
授業内容	インターンシップにより、将来の業務内容を体験し、身に付けるスキルや目標を持つ。		
修得目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点検、整備作業ができる。</li> <li>・指示された業務が終わたら管理者に報告することができる。</li> <li>・自分から積極的に行動ができる</li> </ul>		

授業計画

時限	項目	内 容	時限	項目	内 容
1	自動車整備1	各企業での実作業1	35	自動車整備35	各企業での実作業35
2	自動車整備2	各企業での実作業2	36	自動車整備36	各企業での実作業36
3	自動車整備3	各企業での実作業3	37	自動車整備37	各企業での実作業37
4	自動車整備4	各企業での実作業4	38	自動車整備38	各企業での実作業38
5	自動車整備5	各企業での実作業5	39	自動車整備39	各企業での実作業39
6	自動車整備6	各企業での実作業6	40	自動車整備40	各企業での実作業40
7	自動車整備7	各企業での実作業7	41	自動車整備41	各企業での実作業41
8	自動車整備8	各企業での実作業8	42	自動車整備42	各企業での実作業42
9	自動車整備9	各企業での実作業9	43	自動車整備43	各企業での実作業43
10	自動車整備10	各企業での実作業10	44	自動車整備44	各企業での実作業44
11	自動車整備11	各企業での実作業11	45	自動車整備45	各企業での実作業45
12	自動車整備12	各企業での実作業12	46	自動車整備46	各企業での実作業46
13	自動車整備13	各企業での実作業13	47	自動車整備47	各企業での実作業47
14	自動車整備14	各企業での実作業14	48	自動車整備48	各企業での実作業48
15	自動車整備15	各企業での実作業15	49	自動車整備49	各企業での実作業49
16	自動車整備16	各企業での実作業16	50	自動車整備50	各企業での実作業50
17	自動車整備17	各企業での実作業17	51	自動車整備51	各企業での実作業51
18	自動車整備18	各企業での実作業18	52	自動車整備52	各企業での実作業52
19	自動車整備19	各企業での実作業19	53	自動車整備53	各企業での実作業53
20	自動車整備20	各企業での実作業20	54	自動車整備54	各企業での実作業54
21	自動車整備21	各企業での実作業21	55	自動車整備55	各企業での実作業55
22	自動車整備22	各企業での実作業22	56	自動車整備56	各企業での実作業56
23	自動車整備23	各企業での実作業23	57	自動車整備57	各企業での実作業57
24	自動車整備24	各企業での実作業24	58	自動車整備58	各企業での実作業58
25	自動車整備25	各企業での実作業25	59	自動車整備59	各企業での実作業59
26	自動車整備26	各企業での実作業26	60	自動車整備60	各企業での実作業60
27	自動車整備27	各企業での実作業27	61	まとめ1	発表準備1
28	自動車整備28	各企業での実作業28	62	まとめ2	発表準備2
29	自動車整備29	各企業での実作業29	63	まとめ3	発表準備3
30	自動車整備30	各企業での実作業30	64	まとめ4	発表準備4
31	自動車整備31	各企業での実作業31	65	実技試験1	報告・発表(実務体験の修得内容)1
32	自動車整備32	各企業での実作業32	66	実技試験2	報告・発表(実務体験の修得内容)2
33	自動車整備33	各企業での実作業33	67	実技試験3	報告・発表(実務体験の修得内容)3
34	自動車整備34	各企業での実作業34	68	実技試験4	報告・発表(実務体験の修得内容)4

授業外学習	インターンシップ事前説明 2時間
教科書	なし
教材	インターンシップレポート
成績評価の方法と基準	<p>授業は、すべての時間出席しなければならない。また、遅刻早退、欠席した場合は補講を受講しなければならない。</p> <p>インターンシップレポートを提出しなければ、試験を受験出来ない。</p> <p>総合評価はインターンシップ先評価50点、実習報告会での発表50点、計100満点の60点上取らなければ、卒業は出来ない。</p> <p>不合格者または、未受験者には再試験、追試験制度もある。</p>

## トヨタ東自大シラバス

## 修得目標と授業計画

学科名	ボデークラフト科	実務経験を有する教員による授業	
科目名	車体整備	分類	必修 ・ 選択必修 ・ 選択
履修時期	1年3学期	時限数	92 時限
担当者	トヨタ東京自動車大学校授業担当者名簿参照		学科: 92 時限 実習: 0 時限 1時限は、90分
授業内容	・自動車車体整備士資格の取得		
修得目標	・就職後に役立つ車体整備の知識を身に付け自動車車体整備資格を取得する。		

## 授業計画

時限	項目	内 容	時限	項目	内 容
1	導入	車体整備士資格について	47	板金3	ハンマーリング
2	基礎計算1	乗除の応用1	48	板金4	絞り
3	基礎計算2	乗除の応用2	49	板金5	仕上げ(板金パテ)
4	基礎計算3	比例と方程式1	50	板金6	防水、防錆、防塵作業
5	基礎計算4	比例と方程式2	51	溶接1	電気抵抗スポット溶接1
6	基礎計算5	単位の考え方	52	溶接2	電気抵抗スポット溶接2
7	基礎計算6	加重の分布1	53	溶接3	ガス・シールド・アーク溶接1
8	基礎計算7	加重の分布2	54	溶接4	ガス・シールド・アーク溶接2
9	基礎計算8	割り算のテクニック	55	溶接5	ガス・シールド・アーク溶接3
10	計算問題1	前軸加重1	56	溶接6	ガス溶接1
11	計算問題2	前軸加重2	57	溶接7	ガス溶接2
12	計算問題3	前軸加重3	58	溶接8	ガス溶接3
13	計算問題4	後軸加重1	59	溶接9	電気アーク溶接
14	計算問題5	後軸加重2	60	溶接10	溶接欠陥等
15	計算問題6	後軸加重3	61	溶接11	電気アーク溶接の安全性
16	車体の材料1	金属材料の機械的性質	62	乗用車の整備1	計測・ボデー・チャート
17	車体の材料2	加重の種類	63	乗用車の整備2	油圧機器の原理
18	車体の材料3	応力ひずみ	64	乗用車の整備3	可搬式油圧ラム・ユニット
19	車体の材料4	鋼の熱処理	65	乗用車の整備4	フレーム修正機
20	車体の材料5	鉄鋼材料1	66	トラックの整備1	フレームの狂い1
21	車体の材料6	鉄鋼材料2	67	トラックの整備2	フレームの狂い2
22	車体の材料7	鉄鋼材料3	68	トラックの整備3	フレームの亀裂
23	車体の材料8	非鉄金属	69	トラックの整備4	フレームの補強板
24	車体の材料9	アルミニウム	70	トラックの整備5	リベット
25	車体の材料10	合成樹脂	71	損傷診断1	衝突の種類1
26	はりの強度1	はりの種類	72	損傷診断2	衝突の種類2
27	はりの強度2	はりの曲げモーメント	73	損傷診断1	損傷の種類2
28	乗用車のボデー1	フレームの形状	74	損傷診断2	損傷の種類3
29	乗用車のボデー2	モノコック・ボデーの特長と安全対策	75	塗装材料1	塗料の構成
30	乗用車のボデー3	モノコック・ボデーの各部構造	76	塗装材料2	前処理
31	乗用車のボデー4	プレス加工1	77	塗装材料3	下塗り作業
32	乗用車のボデー5	プレス加工2	78	塗装材料4	中塗り塗装
33	乗用車のボデー6	FR車のフロント・ボデー構造1	79	塗装材料5	塗装設備・機器
34	乗用車のボデー7	FR車のフロント・ボデー構造2	80	塗装材料6	補修塗装
35	乗用車のボデー7	FR車のリヤ・ボデー構造1	81	塗装材料7	塗装の欠陥と原因
36	乗用車のボデー8	FR車のリヤ・ボデー構造2	82	塗装材料8	安全と衛生
37	乗用車のボデー9	メーン・フロアの構造	83	車両法1	自動車の種別
38	乗用車のボデー10	ミニ・バン	84	車両法2	登録・検査制度
39	乗用車の外装部品	ドア等	85	車両法3	分解整備事業
40	乗用車のぎ装部品	ウインドウ・ガラス	86	車両法4	分解整備の定義
41	乗用車のぎ装部品	トリム(内張り)	87	定期点検1	点検基準
42	トラック	キャブ	88	定期点検2	整備命令
43	トラック	リヤ・ボデー	89	保安基準1	保安基準一般
44	バス	バスのボデー構造	90	保安基準2	灯火装置1
45	板金1	鋼板の損傷	91	保安基準3	灯火装置2
46	板金2	板金作業の工程	92	安全と衛生1	危険物、有機溶剤、特化則1

授業外学習	なし
教科書	車体整備、基礎自動車工学、法令教材
教材	ダイナ、コンフォート、スポット溶接機、ガス・シールド・アーク溶接機、ガス溶接機、測定機器、フレーム修正機
成績評価の方法と基準	授業は、すべての時間出席しなければならない。また、遅刻早退、欠席した場合は補講を受講しなければならない。